

②育種・生産環境

今後の研究開発(育種・生産環境)

- データ駆動型育種と新育種技術等の民間活用により多様化するニーズを満たす持続的・一次生産を社会実装

【目標】

- 「強靱な農業システム」の構築に資する生産性の向上を実現する品種開発。
- 「無駄のない食料消費」の実現に資するフードロスを低減する品種開発。
- 「生物多様性維持と環境保全」の実現に資する、悪条件の農地でも生産可能な品種開発と持続的・一次生産を可能とする生産基盤の整備。

【技術開発】

- ジーンバンクの遺伝資源等を活用し、世界トップレベルの育種ビッグデータを蓄積。
- 都道府県・民間等も含め、効果的な育種が可能となるよう、育種ビッグデータやAIシミュレーターと連動する育種フィールドを構築。

